

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
1年	図画工作	いろいろなのはこから	1年1組19名	1年1組 教室・ひろば	宮原 希美絵

1 題材について

題材マップ

子供の深い
学びの姿

友達と関わり合いながら、自分らしく表したいと思うことを選び、試み、楽しく作品に表そうとする。

解決・まとめ

材料に働きかけて思い付いた活動に取り組み、身の回りの作品を参考にしながら体全体を働かせてつくるができる。②

単元を通した
学習過程
まとめる
広げる

知識・技能「何がわかるようになるか・何ができるようになるか」

図工「いろいろなのはこから」

課題設定

習得

振り返り

箱を並べたり、積んだりすることを楽しみながら、体全体で活動する。①

つくりたい形に合わせて、箱の並べ方や積み方を工夫して、体全体で活動する。②

単元を通した
学習過程

つかむ
見通す

単元を通した
学習過程

追究する

習得

算数「かたちあそび」

立体の形の特徴を捉え、感覚を豊かにする。

活用

図工「はこでつくったよ」

集めた箱の形や色、並べる、つなげる、積む活動を楽しみながら、思い付いた物を工夫して表す。

本題材で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- 材料や作品を捉える形や色などについて、自分の感覚や活動を通して気付くこと。
- 手や体全体の感覚などを働かせ材料を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすること。

【思考力・判断力・表現力等】

- 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方について考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすること。

【学びに向かう力，人間性等】

- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養うこと。

題材について

A 表現

- (2) ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。

B 鑑賞

- (1) ア 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げること。

共通事項

- (1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。
イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

本題材は、「造形遊びをする活動」にあたり、材料に働きかけ、自分の感覚や活動を通して形や色を捉え、そこから生まれる自分なりのイメージを基に、思い付くままに発想や構想を繰り返し、体全体を働かせながら創造的な技能を発揮していく活動であり、はじめから作品をつくることを目的としていない。児童は遊びの感覚で箱を並べたり、積んだりし、徐々に形や色に着目し、具体的なイメージを広げていくと考える。

児童の実態

題材の目標

箱を並べたり、積んだりしながら、箱の形や色といった特徴に気付き、それを基にイメージを広げて活動する。

題材の指導について

本題材では、児童が材料に進んで働きかけ、思いのままに発想や構想を繰り返し、技能を働かせながらつくることを大切にしており、遊びの特性を生かした活動である。手だけではなく、腕を動かしたときの感覚、見上げたときの感覚など体全体の感覚などを働かせることが重要である。2時間扱いの単元を1時間ずつ行い、1時間目と2時間目の間を空けることで、イメージに合う箱を集めたり、イメージを広げたりすることができ、主体的に活動することができる考えた。

「追究する」「まとめる・広げる」場面では、1時間全てを鑑賞の時間と捉え、①課題につながる前時の振り返りのための鑑賞 ②自分の作品の振り返りと創作活動修正のための鑑賞 ③制作後の自分の活動の振り返りための鑑賞 と位置付けた。自分や友人のつくった作品やつくりつつある作品を進んで見たり、触ったり、それについて話したりする鑑賞の時間を大切にすることで、自分の表したいことを表現して満足するだけではなく、それを見る人に作品の意図を伝えることや、友達の作品のよさや工夫しているところを見つけ、話し合うことによって新たな価値を見付けることができると考えた。

「つかむ・見通す」段階では、広い活動場所で材料に関わる時間を十分に保障することで、思い付いたことや方法をすぐに試し、材料を扱う楽しさや面白さを味わわせたい。後半お互いの作品鑑賞し合う時間を設定し、並べ方や積み方の工夫を伝え合い、全体で確認することで、2時間目の自分の作品づくりへの見通しをもたせることができると考えた。

「追究する」段階では、お気に入りの形をつくるために予約しておいた箱から前時の振り返りをして、見通しやイメージをもたせ、「つくりたい。」という気持ちを大切にする。作品をつくる時間と児童が作品と対話する時間を十分に保障するため、導入では教師の指示は少なくし、時間を短縮してすぐに活動に取り組むことができるようにした。自分がつくりだした形から新たなことを思い付いて試し、つくり、つくりかえ、つくることを繰り返しながら体全体を使って表現させたい。

「まとめる・広げる」段階では、②と③の鑑賞の時間を設定する。②の鑑賞を重視し、教師の働きかけによって、友達と鑑賞し合う対話的な言語活動を取り入れる。自分や友達の作品に興味をもって見ることにより、表し方のよさや面白さに気付き、自分なりの発想を広げたり、新たな発想につなげたりすることができる考えた。

この題材で十分に箱に親しむことで、箱の形に着目する視点を培い、算数「かたちあそび」で、箱への興味や関心を高めながら、箱の特徴を学ぶ学習へつなげていきたい。図工「いろいろなはこから」と算数「かたちあそび」で習得したことを、図工「はこでつくったよ」で活用する。箱を並べたり、積んだりするだけではなく、つないだり、見立てを行ったり、組み合わせを考えたりする活動を取り入れ、加工したり接着の方法を工夫したりしながら、自分の発想を生かして立体に表すことができると考える。

題材の評価規準

【造形への関心・意欲・態度】	【発想や構想の能力】	【創造的な技能】	【鑑賞の能力】
○体全体を使って箱を並べたり、積んだりすることに取り組もうとしている。	○並べたり積んだりしてできる形を考えている。	○つくりたい形に合わせて並べ方や積み方を工夫している。	○箱そのものの形や色、並べたり積んだりしてできた形の面白さ、大きさなどを感じている。

子供の深い学びの姿

友達と関わり合いながら、自分らしく表したいと思うことを選び、試み、楽しく作品に表そうとする。

段階	時	○おもな学習活動 ・具体的内容 □ まとめ	【 】教師の評価規準 (評価方法) ◇ 指導の手立て ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント<用いる思考スキル>
つかむ・見通す	1	<p>○ 学習課題を決め、学習計画を立てる。 ・集めた箱でどんなことをしてみたいか考える。</p> <p>課題：はこをならべたり、つんだりしてあそぼう。</p> <p>○ 使ってみたい箱を選び、思い思いに並べたり積んだりする。 ・高く積む。 ・長く並べる。 ・同じ色を合わせる。 ・つなげて囲む。</p> <p>課題：ならべかたやつみかたをくふうして、おきにいりのかたちをつくろう。</p> <p>○ お互いのつくったものを鑑賞し、作品の面白さや工夫を「○○作戦」というキーワードにして共有する。 ・高く積んだから、タワー作戦。 ・長く並べたから、へび作戦。</p> <p>○ 次時に使いたい箱を1つ、予約する。</p> <p>いろいろなならべかたや、つみかたがあることに気づいたね。</p>	<p>【関・意・態】 体全体を使って、箱を並べたり、積んだりすることに繰り返し取り組もうとしている。(観察・作品) ◇ 教師と一緒に友達の作品を鑑賞させ、まねしたい友達の作品を見付けさせたり、「ちょうせんカード」を活用させたりする。</p> <p>【知・技】 (創造的な技能) 表し方などを工夫して、つくったり表したりしようとしている。(観察・発言・作品)</p> <p>☆ 自分の表現を試行する時間を保障し、自分なりの表現ができたときは教師や友達に伝え、言語化することで、学習のゴールを見通すことにつながる。 【思A-⑩⑪】<S⑬具体化する></p>
追究する		<p>○ 前時に予約した箱から、自分のつくりたいものを確認する。</p> <p>○ 箱を並べたり、積んだりして、自分のつくりたい形をつくる。</p>	<p>【思・判・表等】 (発想や構想の能力) 並べたり、積んだりして、表したい形を考えている。(観察・発言・作品) ◇ 前時の活動を想起させ、つくりたいものや使いたい箱を確認してから、教師と一緒につくり方を考えさせる。</p>
まとめる・広げる	2	<p>○ つくったものやつくりつつあるものを鑑賞し、工夫をしたところや、気に入っているところ、お互いのつくったもののよさを友達と伝え合う。 ・箱に箱を入れて工夫した。 ・箱を積んで坂にしたところがお気に入り。 ・高く積んだら、○○みたいに見える。</p> <p>○ つくったものを修正したり、更に工夫したりする。</p> <p>○ 学習の振り返りをする。 ・はじめにつくったものから修正したところや更に工夫したところを交流する。</p> <p>いっぱいほこをつんだり、ならべたりすると、いろいろなことができて、おもしろいね。</p>	<p>☆ 自分の表現を振り返って、できるようになったことを実感させ、友達のつくったもののよさや工夫を知ること、自分のつくったものの修正や工夫など新たな課題を見いだすことにつながる。 【思A-⑭】<S⑭応用する></p> <p>【思・判・表等】 (鑑賞の能力) 友達のつくったものなどから形の面白さや大きさを感じている。(観察・発言・作品) ◇ 取り入れてみたいアイデアを聞き、具体</p>

ニコニコシート 「いろいろなはこから」

なまえ _____

がくしゅうかだい 「はこをつんだり，ならべたりしよう。」

すること	ならべかたや つみかたを くふうして，おきにいりのかたちをつくる。	つくるまえ	つくったあと
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> •じぶんが つくったものの よいところを みんなにつたえる。 •ともだちの つくったものの よいところを とりいれたり，つたえたりする。 •はこで， おきにいりの かたちをつくる。 		
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> •ともだちの つくったものの よいところを とりいれる。 •はこで， おきにいりの かたちをつくる。 		
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> •はこで， おきにいりの かたちをつくる。 		
ニコニコメモ	(わかったことや できるようになったこと，かんそう)		

3 本時の学習

(1) 目標

つくったものの工夫を友達と伝え合い、箱をどのように並べたり積んだりしようかと考え、表そうとする。
(発想・構想の能力、鑑賞の能力)

(2) 展開【 2時間目 / 2時間扱い】

* 思考アクティブ化シートB-②【対話重視】・B-③【活用重視】

	児童の活動	思考	□教師の働きかけ ◎主な発問 ◆評価(評価方法) ★思考を活性化させるアクティブ化ポイント<用いる思考スキル>
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までを振り返る。 ・つくったものの写真を見て、○○作戦について想起する。 ○ 前時に予約した箱から、自分のつくりたいものを確認する。 ○ 本時の学習課題を確認する。 	<p>全</p> <p>個</p>	<p>□ 積んだり並べたりしたものの写真を見せる。 ★ 前時の作品の写真を見せることで、短時間で内容の把握と課題確認ができるようにする。 【思B②-②】<S③焦点化する></p> <p>★ 自分の持っている箱でどんな並べ方や積み方ができるかを考えさせることで、ゴールイメージを明確にすることができる。 【思B③-①】<S⑩見通す></p>
<p>ならべかたやつみかたをくふうして、おきにいりのかたちをつくろう。</p>			
展開 32分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箱を並べたり、積んだりして、自分のつくりたい形をつくる。 ・前につくったのと同じ作品をつくってみよう。 ・予約した箱を使って前よりももっと長い(大きい)作品をつくろう。 ・友達とつなげてみよう。 ・箱に箱を入れてみよう。 ・並べて囲んでみよう。 ・箱を箱ではさんでみよう。 ○ つくったものやつくりつつあるものを鑑賞し、工夫をしたところや、気に入っているところ、お互いのつくったもののよさを友達と伝え合う。 ・箱に箱を入れて音が鳴る工夫をした。 ・箱を積んで坂にしたところがお気に入り。 ・高く積んだら、○○みたいに見える。 ○ じぶんのつくったものを修正したり、更に工夫したりする。 	<p>個</p> <p>ペア グループ</p> <p>個</p>	<p>□ 「にこにこシート」で課題を確認し、友達の作品を自由に見に行き、よいことを伝える。</p> <p>□ お気に入りの形になったら、教師に伝え、気に入っているところを言葉で確認する。</p> <p>◆ 並べたり、積んだりして、表したい形を考えている。(観察・発言・作品)</p> <p>□ 教師が工夫やお気に入りポイントを大きく褒めて、児童同士の対話が自然に生まれるようにする。</p> <p>◎ 自分のつくったものの工夫したところやお気に入りポイントはどこですか。</p> <p>□ お互いのつくったもののよいところを伝え合わせて、自分のつくったもののよさに気付かせる。</p> <p>★ お気に入りポイントを交流することで、短時間で振り返りをしたり、新たな創作意欲をもったりすることができる。 <S④比較する>【思B③-⑥】</p> <p>★ お気に入りポイントを交流することで、作品の工夫やよさに気づき、自分の作った作品と関連付けて新たな作品づくりができる。 【思B②-⑩】<S⑧関連付ける></p> <p>◆ 友達のつくったものなどから形の面白さや大きさを感じ、作品に表そうとしている。(観察・発言・作品)</p>

終末 10分	<input type="radio"/> 学習を振り返る。 ・〇〇さんと、この部分を同じようにしてみました。 ・みんなのつくったものをお手本に、新しいものを作りました。 ・箱を高く積んだら、ロボットに見えました。	全体	<input type="checkbox"/> 撮影した写真を見せながら、はじめにつくったものから修正したところや更に工夫したところを交流させる。 <input checked="" type="radio"/> どんなものができましたか。それは、何に見えますか。
いっぱいはこをつんだり、ならべたりすると、いろいろなことができて、おもしろいね。			

(3) 評価

<p>◇評価規準の具体（発想や構想の能力，鑑賞の能力）</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>大いに満足できる（AA）： 友達の作品を見て，様々な表現方法に気付き，気付いたことを生かして，自分の作品を工夫することができる。</p> <p>十分に満足できる（A）： 友達の作品と自分の作品を比べて，表し方の違いに気付き，自分の作品に取り入れて表すことができる。</p> <p>おおむね満足できる（B）： 友達の作品のよいところを自分の作品に取り入れて表すことができる。</p> <p>努力を要する児童への指導： 作戦名を教師と一緒に確認し，教師と一緒に箱を選んで，作ってみたり，取り入れてみたいよいところを聞き，具体例を出して考えられるようにする。</p>
--

(4) 板書計画

<p>いろいろなはこから</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ならべかたやつみかたをくふうして，おきにいりのかたちをつくらう。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 5px;"></div> </div> <p>〇〇さくせん 〇〇さくせん 〇〇さくせん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いっぱいはこをつんだり，ならべたりすると，いろいろなことができておもしろいね。 </div>	<p>ホワイトボード</p> <p>※学習の振り返りのときに，画像を映す。</p>
--	---